

高山樗陰 かたかみ 新聞記者、辯護士。明治六年十一月二十七日千葉縣
 山武郡白里村生れ、二十五年五月二十一日歿（八七三―一九〇二）。木名孝
 之助。明治二十七年明治法律學校入學、二十九年辯護士試験に合格、
 同立年千葉町の事務所を開いた。三十二年關和知の後を承けて、進歩黨、
 憲政本黨系の新聞『新總房』主筆となる。また千葉辯護士會副會長と
 なるも、肺結核で歿す。

遺稿の評論隨筆集『無絃琴』（明治三十五年八月二十日鳩筆書院）には、
 豫かほて『新總房』讀者として、樗陰の文章に著目してゐたといふ幸徳秋
 水が序文を寄せた。

